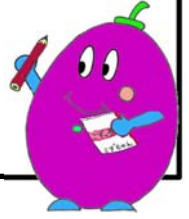




# 古都っ子だより

令和5年2月28日  
岡山市立古都小学校

《心豊かにたくましく生きる児童の育成》 元気な子 やさしい子 考える子



## 古都小学校 歴史の重み！

2月10日（金）古都小学校に二人のお客様がいらっしゃいました。若狭元就先生（平成6年～8年度校長）と真鼻貴美子先生（平成7～9年度教頭）です。今から20年以上前、古都小にお勤めになられていました。古都小には「ふるさと古都を語る会」という過去に在籍された先生方や地域の方々との交流会があります。しかし長い月日経ち、会員が集まるのがだんだんと難しくなってきました。そこで、会を始めた際にお勤めになられていたお二人の先生から、今後の会の運営についてのご意見をいただくためにご来校いただきました。

その折、お二人の先生から在籍されていた当時の古都小の様子を伺いました。「地域、保護者、教職員の協力あつての学校」を合言葉に、地域の宝物である子どもたちを育ててきた数々の取組等、子どもを取り巻く大人たちの熱心な活動の様子を教えてくださいました。今年度「クロスカントリー大会」や「古都ふるさとカルタとり大会」などの地域行事を開催している「古都の子どもを育てる会」も、当時から活動している団体の一つで、創設から20余年の時を経てなお、地域の方々が協力して運営されています。中には三世代に渡り活動に関わっておられるご家庭もあり、町内会、老人会、公民館など学校を取り巻くさまざまな組織が協力し合って、地域ぐるみで学校を支えてくださっていた様子が分かりました。

また、放送教育の全国大会（平成8、9年）が開かれたときには、全国からの多くの来校者を迎えるために、さまざまな掲示物等を整備されたお話も伺いました。今でも体育館の入り口（下写真）や北館1階の廊下には、小学校周辺の特徴的な建造物や旧跡、歴史ある名所等が分かる掲示物が残っています。そうした掲示物は地域の方々や学校が協力して作ったとのことでした（裏面記事）。インクの色が褪せ見づらくなった部分もありますが、学校と地域のつながりや歴史を今に伝える貴重なものだと分かりました。



体育館入り口右側に設置された「ふるさと古都」のパネル（平成9年）

裏面に続く

